

アパレル素材の実践知識

BASIC KNOWLEDGE OF TEXTILE

コロナ禍を経験した消費者は、新しい価値観を持ち始めています。価格は言うまでもなく付加価値やサステナビリティを重視しています。ここ最近のものづくりをみても色やデザイン性ではなく素材感で新しさを打ち出す傾向がみられています。アパレルやファッション関連品の企画やその展開を考える上で、改めてテキスタイル（素材）重要性が問われています。今も昔もテキスタイルは、ものづくりの核（中心）です。言い換えれば、テキスタイルを知ることが、新しい商品の開発や良いものづくりにつながると言っても過言ではありません。例えば、商品のコストや価値を大きく左右し差別化のカギとなる原料と糸使い、服づくりのポイントを握る組織、商品の付加価値やデザイン性を高める加工、意匠などこれらを知ることが、ファッション業界に携わる人々にとってますます重要です。そこで弊社では、テキスタイル（原料・糸・組織・加工・染色、仕上げ、プリントなど）の基本的なことからものづくりに使える実践的な知識までをアパレル、テキスタイル、OEM、ODMメーカーや商社、流通や通販企業のデザイナー、MD、営業、バイヤーの方々に向け実際の生地や動画（紡績・織物・捺染など）と詳細なテキスト及び自らの経験を基に知識豊かな素材のプロがわかりやすく解説する講座を開催いたします。

日 時：東 京：①2023年11月10日（金）9：30～17：00

②2024年1月18日（木）9：30～17：00

※①の日程が延期になった場合、②の日程で再募集いたします。

会 場：東 京：長井記念館（渋谷区渋谷2-12-15）

講 師：竹内 忠男（テキスタイルコーディネーター／元文化ファッション大学院大学教授）

- 受講料：1名 **28,600** 円（テキスト・生地見本80点・糸見本12種類・消費税込）
※一社で5名以上参加の場合5%割引します。
- 主催：株式会社ファッションリソースセンター・ファッション情報課
- お申込み：下記の受講申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込み下さい。また、ホームページからもお申込み頂けます。最少実施人数（20名）に達しない場合は①の開催を延期し、②の日程で再募集します。開催決定後のキャンセル及び人数変更（減員）は、お断りいたします。開催可否の最終判断は、開催日の14日前ごろに致します。開催決定後に受講票と請求書をお送りさせていただきます。
- お支払い：お手数ですが、請求書到着後1週間以内に下記口座へお振込み下さい。（振込手数料はご負担願います）
方 法 一度お振込頂いた受講料は、ご返金致しかねますのでご了承下さい。

● お問い合わせ先 **TEL 0742(51)3747 FAX 0742(51)2339**

お申込み先

<http://www.trend-seminar.jp>（こちらからも、お申し込みいただけます）

-----（キリトリ線）-----

実践知識（アパレル）

受講申込書

会社名		業種	請求書(要・不要)
住 所 〒		☎ ()	FAX ()
会 場	受 講 者 名	部 署 ・ 役 職 名	e-mail
東京			
東京			
東京			
東京			

本お申込みで取得致しました個人情報につきましては、当社は適正に管理し、今後、当社が主催する各セミナーのご案内をさせて頂くことのみを目的として利用させていただきます。尚、ご案内が不要な場合は、当社までFAXにてご連絡をお願い致します。

講座カリキュラム

繊維原材料特性から生地組織・染色加工仕上げ・意匠について

時 間	テ ー マ	内 容
9:30 ↓ 17:00 (途中休憩あり)	原 料	「繊維原料種類とその特性」 天然繊維・再生繊維・半合成繊維・合成繊維 吸湿性(公定水分率)・吸水性・伸縮性・重さ・繊維強度等
	糸	「糸の種類、撚り方向、太さ表示等」 紡績糸とフィラメントの撚り方向、番手表示、デニール表示等 レギュラーヤーン・ファンシーヤーン
	組織Ⅰ	「織、編物の基本組織」 三原組織と変化組織、特殊織物 組織の持つ効果。その特徴等 緯編、経編の基本組織、変化組織 糸使い、糸密度、ゲージ数、目付け、仕上がり幅等
	休 憩	
	組織Ⅱ	「代表的生地名称」 原料から、糸から、産地から、仕上げから来た名称 ＊具体的スワッチサンプルを参照しながら組織別、糸種別 また、その商品アイテム展開等解説
	染 色 整 理 仕 上 げ	「染色の種類」 繊維と染料の関係、染色の種類とその染色設備 染色加工工程、糸染め、トップ染め、無地染め、製品染め等 「仕上げ、整理加工の種類」 基本的物性の安定、またファッション的な視点から 「特殊加工」 コーティング、フロッキー、オパール、エンボス等
意 匠 表 現	「プリント加工の種類」 マシン P、スクリーン P、ロータリー P、転写 P、 インクジェット P 等 「加工柄表現の方法」 オーバー P、防染 P、抜染 P	